

(別紙)

令和7年度 丹波の森もりびと賞 受賞者一覧

区分	受賞者名（敬称略）	代表者（敬称略）	住所	主な活動内容
1	ハタ 畑 ヨシフミ 儀文	ハタ 畑 ヨシフミ 儀文	西宮市松籟荘	「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば」は、人と自然と文化が調和した「丹波の森構想のもと、国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げる音楽祭として1995年から始まり今年で31周年を迎える。テノール歌手である畠儀文氏が中心となって、地元住民及び地元出身者主体の実行委員会が企画運営を行い、丹波地域の各地で大小様々なクラシックコンサートが行われてきた。 丹波の森構想のもと、丹波地域の豊かさを象徴する音楽事業を長きに渡って取り組まれ、丹波地域の住民生活に文化的な潤いを与え続けている。
2	トサカ シンリンホゼン カイ 戸坂森林保全の会	ダイヒョウ アシダ ショウゴ 代表 芦田正吾	丹波市市島町戸坂	平成29年6月17日に自治会内の有志6名により戸坂森林保全の会を設立した。構成員のほとんどが60代後半の素人の集まりで、勤務等の合間を活用して、雑草木の刈り払いから風倒木や枯損木の除伐や間伐等を行い、有志が所有する森林の整備を行うことであれあいの場を確保することを目的に活動を開始した。 また、令和元年からは間伐材の有効活用を図るため木の駅プロジェクトに参加し、間伐材の搬出を行い、持続可能な森林整備活動の維持を目指している。 さらには、少子高齢化による労働力不足や林業経営による収益性が見込めないなどにより里山林の整備がなされず、多面的機能が発揮できていない状況下において、令和5年からは山林の所有者等に少しでも山に関心を持ってもらい山に足を運ぶきっかけづくりになればとの思いを込めて、地域に居住しない構成員以外の森林所有者の森林整備に取り組みながら組織の拡大を図っている。

*個人及び団体毎、各五十音順に記載しています。表彰についても、この順序で行います。